

公益財団法人

日本教育公務員弘済会

# 福井支部のしおり



福井市上文殊小学校



福井県立盲学校



若狭町立三宅小学校

## Contents

年頭にあたり

令和4年度 福井支部事業報告

教育文化活動助成活動報告

令和5年度 支部事業計画

日教弘クラブオフ

共済事業のご案内

令和5年度 貸与奨学生募集のご案内

2023.1発行  
vol  
34

# 年頭にあたり

公益財団法人  
日本教育公務員弘済会福井支部  
支部長 竹原 昭一



新年明けましておめでとうございます。  
日教弘の会員ならびに県内教育関係者の皆さま方には、日ごろより日教弘福井支部の各種事業の推進にご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。また、学校・園の教職員の皆さまには、感染症の拡大により生活様式が一変する中、子どもたちの安全で安心した生活を守るために日々ご尽力されていることに敬意を表しますとともに心より感謝を申し上げます。

日教弘は、昨年創立70周年を迎えるとともに、平成24年度からは公益財団法人として新たに事業を展開してまいりました。その間、教弘会員ならびに教職員の皆さまのご理解とご協力のもと、教育振興における助成団体として大きな実績と成果を収めてまいりました。また、日教弘会員制度の改定により、日教弘の趣旨に賛同いただける皆さまには、教弘保険加入の有無にかかわらず、全国各地で会員限定優待サービスを何度でもご利用できる「日教弘クラブオフ」に入会することができます。これは、入会費・年会費無料で、ご家族や友人の方も一緒に利用することができます。ぜひ入会をお待ちしております。

さて、日教弘福井支部では、教育に携わる仲間たちの助け合いの輪を広げるという理念を大切にしつつ、教職員の皆さんの志に寄り添い、福井県の教育の振興に貢献できる事業の普及・拡大を進めております。奨学事業では、大学生や高校生に対して貸与や給付奨学生事業を行っています。教育研究助成事業では、教職員の有益な研究(活動)を助成いたします。教育文化事業では、地域の教育文化を創造する研究・活動に対して助成・支援を行っています。このように、日教弘の教育振興事業は、学校に活力を、子どもたちに笑顔を与えています。

また、教弘保険に加入いただいている会員様への福祉事業では、暮らしに豊かさをプラスする取り組みを行っています。結婚・出産・入学などの祝い金等の給付事業や宿泊・人間ドック・映画鑑賞といった補助事業を行っています。この福祉事業は年度内随時ご利用いただけますので、支部の事業案内をご確認いただき申請漏れがないようしてください。

今後も、公益財団法人としての使命を果たすべく教育振興事業の一層の充実を図り、広く教育界に寄与・貢献するとともに、「最終受益者は子どもたち」であることを前提に福井県の教育の振興・発展に尽力いたします。

## 令和4年度 福井支部事業報告

(令和5年1月5日現在)

### 教育振興事業

★福祉事業・福祉関連事業に関しましては、次回号にてご報告いたします。

#### ★奨学事業

- ・貸与奨学金 8名 7,500,000円
- ・給付奨学金 33名 3,300,000円

#### ★研究助成事業

- ・教育研究大会助成 11大会 1,500,000円
- ・教育研究団体助成 14団体 1,800,000円
- ・教育研修助成 48校 2,400,000円
- ・特別支援学校教育支援 6校 300,000円
- ・教育実践研究論文 10校 500,000円(予定)

#### ★教育文化事業

- ・教育図書贈呈 国公立幼稚園 14園 132,550円
- 公立認定こども園 25園 243,540円
- 中学校 69校 2,242,592円
- 高等学校 31校 1,335,641円
- 特別支援学校 12校 233,904円
- ・教育文化活動助成 68校 5,440,000円
- ・へき地複式学校支援 21校 1,050,000円
- ・教育文化・芸術・スポーツの振興 2大会 200,000円

### たすけあいの輪

弘済会は、学校・教職員、ジブラルタ生命との「たすけあいの輪」を広げ、「最終受益者は子どもたち」の理念のもと、教育振興の充実を図るとともに会員の皆様の生活に安心と潤いをお届けします。



公益財団法人日本教育公務員弘済会(略称：(公財)日教弘)の教育振興事業(奨学事業、教育研究助成事業、教育文化事業)及び福祉事業は、教弘保険の契約者配当金により運営されており、日本の教育界に貢献しています。

## 教育文化活動助成 活動報告

県下の伝統文化の保護、技能の継承、科学技術の発展、自然環境の保全、国際交流等の発展・向上を目的とし、特色ある創造的な教育文化活動に対して、今年度は、以下の68校に助成をさせていただきました。

### 福井市東安居小学校



本校の校地の北には、福井市内の町中とは思えないほどの広大な畑が広がっている。その畑を利用して、トマト、ピーマン、ナスなどの夏野菜に始まり、秋にはサツマイモ、冬には大根と四季折々に旬を迎える野菜を育てている。野菜の世話に当たっては、地域の野菜つくり名人の方々の協力と助言を受けながら、栽培に努めている。10月下旬にはサツマイモの収穫を各学年で行った。この取組を通して、地域を愛する心を育てていきたい。

### 福井市順化小学校



地域活動で活用しているタブレットの使用の際、離れた場所の音声を拾ったり、複数の人の会話に対応したりできるように、スピーカーフォンを購入した。特に役立つのが、新型コロナウイルス感染症により自宅待機している児童と、話し合いや授業配信する際に、音声をはっきりと伝え合うことができていくということである。ハンズフリー拡声器スピーカーはマスク越しの説明が必要な場面に使いたいと考えている。

### 福井市西藤島小学校



4年生の総合的な学習で、福祉をテーマに学習を進めています。目が不自由な方や車椅子で生活される方が、普段生活する上でどんなことが不便で、どのようなことを望んでいるのかをまとめ、購入させていただいたiPadとAppleTVを活用して発表しました。今後、地域のバリアフリーやユニバーサルデザインの工夫について調べ、西藤島地区が全ての人にとってさらに住みよい町になるよう、みんなで考えていきます。

### 福井市河合小学校



本校では、地域の自然や人との関わりの中で、地域のよさを再発見したり、課題を見つけてよりよく解決したりする体験活動を進める中で、地域に誇りと愛着をもつ児童を育成しています。具体的な活動として、「①学年を追うこと②レベルアップする③つくり④つくり名人の授業⑤⑥風上げ大会」があります。これらの活動を通して、地域に伝わる伝統の風情を感じ、自分たちのふるさとに愛着を持つことができました。

### 福井市麻生津小学校



麻生津小学校では、テーマ「地域人材との出会いから憧れ・夢・目標を育む」のもと、自分の力を出して働くこと、夢や目標を抱き努力を続けること等の尊さを学ぶ取組を行っている。5・6年では、JAXA(宇宙航空研究開発機構)で働く本校卒業生が講師となり、JAXAでの仕事の実際や宇宙の最新の情報を教えてもらうオンライン交流を行った。本校先輩の熱心な語りと表情に触れ、夢を描き未知の世界に挑む素晴らしさを学んだ。

### 福井市岡保小学校



10月5日に5年生の総合的な学習の一環として、校区にある「岡の泉」の水質調査を行った。岡の泉は室町時代まで歴史を遡ることができる古い湧き水で、地域で大切に守られている水源である。他市町から水を汲みに来られる方も多く、近年は日本酒用の水としても使用されている。児童は、水質調査を通して、あらためて水のきれいさや、岡保の財産として今後守り継いでいくに当たっての問題等について学習することができた。

### 福井市東藤島小学校



東藤島地区内にある西越勝寺には、日本美術界の偉人、岡倉天心の墓がある。このことから本校の6年生は、毎年、岡倉天心地区顕彰会の方からその業績を学び、自分たちでも調べて、地域に発信する学習を続けている。今年度も新型コロナの影響で、岡倉天心忌への参加を見合わせることはあったが、総合的な学習の時間の中で、岡倉天心や福井のさまざまな偉人についてふるさと福井の偉人等を活用し、調べ学習を行い、まとめている。

## 福井市東小中学校



昨年度本校に寄贈されたベーゼントルファア社製ピアノを用いて、本校児童生徒・地区住民の方々を対象にコンサートを開催している。本年度は全部で9回実施の予定であり、広報やプログラムのためにカラー印刷を行っている。またピアノ維持管理のためには、適切な湿度管理が不可欠である。今年度当初にピアノ湿度管理用の専用カバーのファスナーが破損し、修理を行った(8月)。加えて修理中の代替としてフルシートを購入した。

## 福井市長橋小学校



長橋地区の環境について学習を進める中で、海のゴミの問題に注目した。学びを深めるため、福井農林高校生から海の環境汚染問題について教えていただいたり、海を守る取組をされているNPO法人の方から環境出前講座をしていただく機会を持った。自分たちにもできることとして海岸清掃を計画したが、気温が高く実施できなかった。今後は、学んできたことをもとに、自分たちに何ができるかを考えて、地域に提案していきたい。

## 福井市明新小学校



地域の方と子どもたちの関わりを校内放送等で紹介している。学校が多人数に見守られていることに気付くようにした。最近では、コロナ禍で大人数では集まれないが、手紙の交換を通して心の交流や地域の花畑の看板を学芸委員会で作成し、地域の方と委員会の子もたちが完成式で共に祝ったことを紹介した。直接関わった子どもたちには、地域の方との新たな出会いや気づきがある。その姿を見た子どもたちにも刺激となっている。

## 大野市阪谷小学校



本校では、星空を中核に地域をつなぐ活動を行い、豊かな心をもち、あすをきりひらく子の育成に取り組んでいる。シルバー人材センター主催の「ねんりん秋市」に全校で参加した。阪谷マイスターの方々に教わりながら栽培・収穫した野菜やお米等の販売、地区社協の方等の協力を得て作成したパンフレット「阪谷の宝」の配付、大野市が目指している星空保護区認定に向けて学んだことを来訪者にプレゼンテーションしてPR活動をした。

## 大野市富田小学校



本校は、ふくいSDGsパートナーに登録し、持続可能な地域・社会づくりを実現するために、学校教育目標「ともに学び明日をきりひらく子の育成」に基づいて学校教育を進めている。その一環として、4年生では地域の内川でPTAと連携して環境調査と清掃を行いました。この活動は15年以上続いています。3年生で地域の宝として道の駅「越前おおの荒島の郷」を見学し、調べる学習を行いました。

## 勝山市立平泉寺小学校



5月のふきとりでは、地域の方々にご協力をいただき、昨年度よりも多く収穫することができた。6年生を中心に行った販売活動も順調に進み、遠くからわざわざ足を運んで購入してくださった方々にも大好評であった。語り部活動では、新たな説明やフリップ等を準備し、昨年度よりも進化させた案内を目指してきた。地元の小学生や地域住民を対象に語り部をするなど、地域に根ざし、地域の発展に貢献できる児童の育成を目指している。

## 福井市美山啓明小学校



ふるさと美山の魅力を発見する機会として、赤谷川の水生生物観察会を実施した。児童らは、膝下まで川につかりながら、石の裏などにくっついている水生生物を楽しく意欲的に取っていた。取った水生生物の種類から、赤谷川がとてもきれいなことが実感できたようであった。この赤谷川は、児童が普段見ている足羽川の支流であることから、足羽川についてもっと調べたいということから、現在は足羽川ダムについての調査を進めている。

## 福井市越廼小学校



本校は年間を通して、低学年は「一人を歩く」、中学年は「みんなと歩く」、高学年は「力の限り歩く」意識して継続して取り組む個人目標を決め実行している。今年度も年度はしめに一人ひとりが目標を決め実践している。また陶芸や調理実習の外部講師招聘の際に、「大好きだった陶芸を続けてきて今がある。」「魚料理の良さを知ってほしい」と考えこの仕事をしている。等、今の仕事を選んだ理由なども含め話をさせていただいた。

## 福井市一乗小学校



第15回を迎える「朝倉ガイド」を、今年度からは全校生で取り組む。全校生が「一乗ことも観光大使」とであるという思いから、子どもたちがデザインしてのぼりや旗を作った。11月3日には、全校生が遺跡に出かけ、観光客相手にガイドを行った。今後、高学年は、学びをまとめたパンフレットを作ったり、他校の児童にガイドしたりする。また、低学年や中学年は、地域の魅力を発見し発信する活動を続けていく。

## 勝山市立野向小学校



野向町を3方面に分け地域巡りを行いました。子どもたちが知らない野向の素晴らしい歴史や学術的価値のある地層、歴史的建造物などを実際に見学し、専門家からの説明も受け、自分たちが住む地域の素晴らしいところをたくさん知ることができました。また、町民文化祭では地域芸能として守ってきた雅楽の演奏を披露し、会場を盛り上げました。今回は、講師の先生方も太鼓などで華を添えてくださり、本格的な雅楽演奏となりました。

## 勝山市立鹿谷小学校



1年生は、ふるさとの宝を見つける活動として「町探検」を行い、地域の方から鹿谷町の良さを教えていただいた。5年生は地域の方を講師に招き、鹿谷町特産の「恐竜ひょうたん」栽培に取り組んだ。今後は収穫した恐竜ひょうたんを加工し、町のコンクールや文化祭に出品する予定である。6年生は地元の歴史研究者や市学芸員から、町の歴史について学び、さらに学びを深めている。成果を町の文化祭等で発信する予定である。

## 勝山市立北郷小学校



学年に応じたふるさと教育の実践している。特に、3年生は「北郷のお宝発見」として地域学習に、4年生は「北郷で活躍する人」に着目し、インタビューを活動の中心に、5年生は「北郷映え栄えプロジェクト」というテーマで、地域の自然を守るための活動を中心に、6年生は「北郷の歴史から平和学習」をテーマに、織物と戦争、平和学習へと発展した学習を進めている。調べたことをもとに作品に仕上げる活動にも取り組んでいる。

## 福井市上文殊小学校



東大寺に献上するお米を、地域の方々と一緒に世話をする経験を通し、地域の文化や歴史を学んでいる。東大寺へのお米送りを営め高き文化と捉え、地域で受け継ぐ担い手として知見を深めている。昔ながらの稲作や作業に、興味をもつ意欲的に取り組んでいる。また5年生は、地域の方の指導をいただきながら稲の生育調査を行っている。今年は田植えで苗の本数を減らして、生育に差があるかを調査しながら、探求を深めている。

## 福井市東郷小学校



東郷小学校では、全学年でデジタル教材「ふくe刊」を教育活動の中で積極的に活用しています。朝の活動で、興味関心のある新聞記事を読んだり、各教科で学習している内容に関する記事を見つけ、学びを深める資料として活用したりしています。さらに、新聞ワークシートを使って、自分の意見や考えを書き込み、みんなで共有し評価し合う活動もしています。このような取組を通して、新聞から見聞を広めたり、思考力を高めたりしています。

## 大野市下庄小学校



新型コロナウイルスによる行動制限が続く中、ICTを活用した学校活動を進めている。児童会活動の中では、タブレットを活用した映像をもとに委員会の発表をしたり、各教室にオンライン配信したりすることがスタンダードとなってきた。また、新型コロナウイルスにより長期の欠席となった児童には授業の様子をオンライン配信したり、Google Classroomを活用して連絡を取り合ったりするなど学習保障にも努めている。

## あわら市伊井小学校



本校では、11月12日(土)に5年生による、ふるさと発表会を行います。3つのブースに別れ、各自のタブレット端末と55インチのモニターを繋いで発表を行います。端末にライトニングをつけ、HDMIの接続によりクリアな画像が得られ、活気ある練習を行うことができました。また、理科室に書画カメラを設置できたおかげで、大変効率の良い、工夫した授業ができるようになりました。心より感謝申し上げます。

## 坂井市立加戸小学校



茶畑再生プロジェクトpartⅢ。平成30年度に植えたお茶の苗木、令和2年度に植えたお茶の苗木は、どちらも根付かず、すぐに枯れてしまった。学校の畑では寒さや強風から守ることができない、水やりも不便だと気づき、今年度は、5年生をリーダーとし、校舎の軒下で、「植木鉢」で育てることとした。作戦どおり貝事に根付き、10月から花も咲き、実までついた。現在は年度末の発表に向けて、世話と資料作りに励んでいる。

## 坂井市立鳴鹿小学校



ホタルが住める環境についての条件を知ることから始めた。そして、その条件整備に向けて、専門家の先生を招いて、助言をいただきながら進めてきた。その中で、水質や餌の環境についても調べ、カワニナが主食となることから、それらの環境を整えるために、カワニナを捕まえる活動も行った。そして、ホタルを繁殖させるために幼虫を水槽で飼育する活動も併行して行ってきた。11月には、中間発表を行う予定である。

## 坂井市立大関小学校



5年生が坂井市役所を訪れ、市長と教育長に「SDGs啓発チラシコンテスト」の作品展示のお礼と活動報告を行った。大関キッズグリーン隊としての、啓発活動、ごみの出前授業での地球環境のための話し合い、地区を歩いてのごみ探検の取り組みについて説明した。大関地区がごみゼロのきれいな町になり、住む人たちが気持ちよく暮らせるよう、そしてこれらの活動が坂井市に広がっていくよう、これからも実践を継続していきたい。

## 越前町立四ヶ浦小学校



わが校は、児童会の縦割り活動を「海の子活動」と称して、海の魚の名前を班名にして行っている。その元となっているのが児童玄関にある大きな水槽で、そこには地元の漁師さんが善意で入れてくださる様々な魚が泳いでいる。夏場の水温管理が難しいが、環境委員が一生懸命に世話をしている。海の子集会や体育大会等の学校行事では、縦割り班の班旗を掲げ、各班が団結して取り組んでいる。

## 越前町立織田小学校



織田小学校は、約20年前から地域の方が「ボランティア先生」として、様々な体験学習に関わってくださっている。  
☆さつまいもを育てて、焼き芋づくり  
☆きびを育てて、きびだんごづくり  
☆大豆を育てて、豆腐づくり  
☆お米の苗を植えて、稲刈りし、脱穀。おいしいお米を炊いて食べる・・・  
児童は、収穫をとて楽しみにお世話をし、実際に調理して食べてみることで、さらに思い出に残る体験となっている。

## 越前市服間小学校



本校では、「主体的・対話的で深い学びができる子ども」の育成を目指して、地域とともに積極的にふるさと教育を進めています。地域のボランティア団体を中心に、米・大豆など、たくさんの農作物作りに全校で取り組み、生産物を地域の文化祭のバザーで販売しました。また、地区の文化祭では、服間地区で行った探求活動や米作りについて、制作したCMを披露しました。地域の方と協働しながら学びを深めることができています。

## 越前市岡本小学校



10月に3、4年生が、校外学習で福井セーレンプラネットを訪れて、理科で学習した太陽や月の動きや星座の動きをフタナリワムの映像で太陽や月の動き、秋の星座、惑星について詳しく学んだ。午後からは足羽山動物園に行き、森林や昆虫などにふれたり、カヒバリなどの普段見ることのできないたくさんの動物の観察を行った。11月には4年生が、地域の方の協力を頂きながら越前市ハッパの森で飯ころ炊きに挑戦した。

## 敦賀市立東浦小中学校



11/9(水)河野小学校6年生とのへき地・複式交流学習において、「東浦みかんの紹介」と、校庭で育てたみかんを使って「みかんサイダージュースづくり」を行う予定である。11/30(水)には、小学校5・6年生と中学1年生が、地域のみかん畑で収穫したみかんを、新しくなったJR敦賀駅にてPR販売を行う予定である。その計画に向け、みかんワイスのスライド作成や、みかんジュースのレシピづくりに取り組んでいる。

## 南越前町立南条小学校



教育総合研究所と連携し、ポジティブ教育を実践している。教職員自身の意識や視点を変え、学校生活や活動の基盤を、温かい雰囲気、居心地の良さを意識した活動となるように現職教育を行った。また、児童自身が、集団への所属感や安心感を抱きながら、学校生活を生き生きと過ごせるように、授業や学校行事、委員会活動にフログラムを取り入れ、人とのつながりを通して、居心地の良い活動や温かい人間関係を築く体験を進めている。

## 南越前町立今庄小学校



子どもたちは、地域に向き、取材し、取材したことを元に「私たちのふるさとにできることはないか」を考える活動をしている。6年生は、昨年度から取材を続けてきた「今庄の魅力」を人と物(食・自然・建物など)に分けてCMを作り、多くの人に思いを届けようとしている。また、今庄地区の街道沿いのお店にターゲットを絞り、取材を元にリーフレットも作った。リーフレットは、道の駅や取材先のお店などに置かせていただいた。

## 越前市武生西小学校



パラリンピックでも有名になったボッチャを始め、誰もが楽しめるニュースポーツを体験。本校の掲げるESDに沿って持続可能な社会の作り手になることを目標として縦割り活動を行った。ボッチャは、ルールが簡単で、体力や言葉の遅い子どもにも教え合いつながりながら楽しむという特長がある。全校の2割強が外国籍児童という本校において、ダイバーシティの考え方を広げ、また差別や偏見についても考えるきっかけとなった。

## 敦賀市立栗野小学校



5年生は6月に宿泊学習の一環で野坂岳登山に挑戦しました。登山前には、ゲストティーチャーの「山の会」の方に、正しいリュックのかつき方、安全で疲れにくい山歩きの方法をご指導いただき、登山中も的確なアドバイスや温かな励ましをいただいたおかげで、105名全員が登頂することができました。ふるさと栗野の自然を満喫しながら、仲間との絆を一層深めることができました。頂上で食べたお弁当、見下ろした景色は最高でした。

## 小浜市立中名田小学校



本校では、ふるさとに愛着や誇りを持つ子どもたちを、地域資源を活かした課題探究型ふるさと学習を展開することで育んでいきたいと考えています。そのために、コロナ禍で希薄になっていた地域の方々との関わりを大切に活動を進めています。恵山を活用した「愛宕ラント」では、遊具を設置し、保育園児を招待したり、地域が計画するウォークラリーではコースや内容を児童が考え主催者へ提言するなど学びを深めています。

## おおい町立本郷小学校



本郷小学校のイメージキャラクター「うめりちゃん」をデザインしたハッピを作り、様々な活動の中で着ることで、本郷小学校およびおおい町をアピールする。  
大飯郡小学校連合体育大会の壮行会で着て、選手を盛り上げる。芝刈りレーマソンで着て、本郷小学校とおおい町をアピール、といった形で使用しました。  
今後、他校や外部機関との交流の場などで着用する予定。

## 越前市味真野小学校



味真野地区に残る歴史的名所を題材にした「あじまのかるた」の作成や発表をするに当たり、児童が手作りで作成するカルタの原画を乾燥させるのに、大幅に効率を上げることができた。このかるたを使って、フログミング学習で学んだ技術を生かし、学習発表会で紹介をした。大小関わらず、児童が手作りで作成したカルタなどを一度に多く乾燥させることができたので、その他の作業工程や準備の時間を捻出することができた。

## 越前市白山小学校



本校の保護者の方にゲストティーチャーとして来ていただき、月曜日の朝活動の時間に、低学年を中心とした外国語活動を行っています。1年時から外国語にふれることは、言語の習得に有効であるだけでなく、外国語活動における児童の主体性の育成にもつながります。活動中は、ゲストティーチャーに気軽に英語で声をかけ、楽しそうに取り組む低学年の様子がみられます。短い時間ですが、継続することによって確実に力になっています。

## 越前市花蓮小学校



すべての児童にふるさとに自然に触れ、地域の人々と関わり、人々の思いに触れるような機会をもたせたいと考え、「フロッグ」学級、ホンモノにふれる、ふるさと花蓮を知る」をテーマに体験活動を実施しています。今年度は、農家の方の指導を受けながら、4月に全校児童で種まきを行い、その後、田植えと稲刈りを行いました。収穫した餅米は、地元の岡太神社に提供し、蓬萊祀(越前市指定文化財)などの行事で活用される予定です。

## おおい町立大島小学校



少人数の学級なので、人間関係が固定されがちである。そこで、室内遊びの充実を図り、コミュニケーション能力を育んだり、新しい価値観を感じたりすることを目指している。  
雨天時の休み時間や学級活動で百人一首・カードゲーム・オセロなどの室内遊びを行うことを通じて、友達と関わり合い、コミュニケーションを取ることができている。様々な遊びを通して、友達の新たな一面を発見することにつながっている。

## 若狭町立みそみ小学校



校舎の横を流れるはす川の生き物観察、地域の方と共に文化活動を楽しむクラブ活動、委員会での花苗栽培や校区美化活動等、校区に広がる豊富な自然や地域の文化等を学びの場として生かし、様々な活動や交流を通して郷土愛を深める学習に取り組んでいる。また、これらの学習の成果を地域へ積極的に発信し、児童と地域の方々がより深いつながりを築き、次世代の三十三地区の担い手を育成していきたい。

## 若狭町立三宅小学校



6年生は地域の宝発見・発信活動として、地域のボランティアや専門家の協力を得て地域の自然・文化等について調べ、見えてきた課題をもとによりよい地域づくりについて考える活動を行っています。9月には若狭町に新しくできたYUMI KATSURA MUSEUM WAKASA館長の西村房子氏に「みんなが気持ちよく暮らすために」というテーマで講演をしていただき、自分の将来やふるさととのこれからについて考えました。

## 福井市安居中学校



協働で挑戦する「プロジェクト学習」の内容を系統的、視覚的にとらえやすいように配置したリーフレットを作成するが、現在その途中である。1年生はようやく3年間のテーマが決定し、地域の人材や環境・文化を活用した学習を始めた状態である。2年生は職場説明会・職場面会・職場体験学習を終え、学んだことを職場の方に報告しようとしている。3年生は街づくりについて語る会、ホテル観察会、住居の図鑑、自分たちがつくった地域CMが完成した。今後、街づくりについて語る会で学んだ内容を深めていきたい。

## 福井市大安寺中学校



大安寺中学校ではいろいろな種類のメダカを水槽で飼っています。その中で産まれた卵の観察や稚魚の観察は、一般的な双眼顕微鏡では光を下げながら見てみることにあります。ところが、光を当ててしまつと観察物や水が多少熱くなります。今回の助成金で購入させてもらった顕微鏡では光を当てなくても明るく見えるのがとても役立ち、ルーペでの観察も大変有効です。顕微鏡は持ち運びもしやすくこれからの活動に大いに活用できます。

## 福井市至民中学校



テーマ「地域連携プロジェクト～社南探検隊～」のもと、総合の時間に調査研究を行い、その学びを地域に発信する。まず、「社南公民館教育事業」「古街道復興プロジェクト会」の協力を得て、地域の個性や魅力を知り、地域の良さを伝承できる「語り部」となる。その後、ふるさとの魅力を発信するため、タブレットで動画映像を作成したり、生徒が語り部となり、社南小の児童に伝えたりする。これらの活動は、総合的な学習の時間を活用し、「地域連携プロジェクト」のカリキュラムの中で実施する。

## 大野市上庄中学校



今年度、本校では故郷大野市のCMづくりを通して、大野市の歴史、文化、伝統産業、特産物の魅力を再発見する活動を行っています。このCMづくりには助成金で購入した端末を活用させていただいてます。現地での取材や調べ学習に使用することで効率的に情報収集を行うことができ、写真、動画、音声をうまく組み合わせて大野の魅力を表現することができました。CMを見合うことで一人では気付かなかった新たな発見ができました。

## あわら市芦原中学校



第1学年では、あわら市の歴史や文化を学ぶ「郷土歴史講演会」や「あわらの水道出前授業」、「あわらの特産物出前授業」、「北陸新幹線出前講座」を実施した。第2学年では、石川県金沢駅前にあわら市PR活動を実施した。今後、事後学習として、体験内容をポスターにまとめていく。特別支援学級では、あわらの特産物の製法栽培に向けて事前学習(受粉方法、摘蕾、摘果等)や体験学習(摘蕾、摘果、袋掛け、収穫等)を行った。

## 坂井市立丸岡中学校



美術科で「地元PR文様を考えよう」という授業を行いました。ふるさと福井や坂井・丸岡をイメージしたデザインを考え、個々の原画デザインをタブレットで写し、大型モニターで共有し、意見交換することでデザインの完成度を高めました。そのうち、消しゴムハンコを作り、腕に押し印し作品を作り上げました。作品は、校内の文化祭だけでなく、坂井地区美術展や坂井市文化祭に出品しました。

## 福井市殿下中学校



本校は、令和5年度末に閉校することが決まっており、総合的な学習を中心に閉校に向けての学習を行っている。「IDENGAプロジェクト」と題し、歴代の卒業生へのインタビューや歴史を語る学習、県内の閉校した学校を有効活用している施設の調査活動等に取り組んできた。10月には、全国で活躍されている前田謙利さんをお迎えし、プレゼンテーションの極意について学び、学習発表会でのプレゼンに活かすことができた。

## 福井市鷹巣中学校



コロナ禍の中、1年生はテーマ「海岸のゴミを収集しゴミ調査」のもと、越前海岸のゴミを調査して、文化祭の制作劇で海のつながりの大切さを訴えた。2年生はテーマ「鷹巣の伝統・文化の継承」のもと、鷹巣PRパンフを作成し市内に配布、また、地域の方から習った豊満太鼓の制作曲を文化祭で演奏した。3年生は「住み続けられる町づくり」のもと、鷹巣海岸の砂やクラサントアートに挑戦、拾ってきた貝殻でレジンをつくり、本校や地区の文化祭で展示した。3年ぶりに全校で24年目標「ヨサコイ夜網節」を体育祭で発表した。特に、コロナ禍で、1年生は、2、3年生の作った練習動画をリモートで学習、振り付けを習得した。今後、糸崎寺の仏舞の龍笛・鼈車の演奏練習を計画している。

## 福井市美山中学校



学校祭の企画運営を生徒主体で行った。特に、文化祭では学年活動を行わず、色別活動を取り入れて、縦割りを重視した。例年、体育祭だけ色別で活動していたが、2日間を通して色別にすることにより、縦割りの多様な集団での協働的な活動が展開できた。生徒たちは、課題の解決のための話し合いや、合意形成をはかったり、意志決定をしたりする中で、互いのよさを認め合いながら、主体的に取り組む力を育んだ。

## 越前町立織田中学校



生徒会が「持続可能な教育目標」に取り組んでいます。執行委員会ではグリーンカーテンで省エネを目指しましたが、校舎の外壁改修が行われたため、残念ながら一度設置したグリーンカーテンをグラウンドへ移動しました。また、自然の現状を知るために、地区の人に案内してもらい水生生物調査を実施し、全校生徒に壁新聞で知らせました。整備委員会では「再利用」をテーマに牛乳パックを用いた紙漕ぎによる再生紙を作成しました。

## 越前町立朝日中学校



自分たちが暮らす越前町を理解するために、町内で働く人々の様子や就労内容を調べ、事業所取材したり見学したりした。また、他県の街の様子や歴史を探究し、班ごとに調べたことや分かったことを相互に共有しながら、我が町との文化の違いや共通点への理解を深めた。これらの活動についての資料等を生徒自ら作成・製本し、事前学習に用いたり事後記録として保護者や地域に配るなど、積極的に関わろうとする姿勢が見られた。

## 小浜市立小浜第二中学校



スローガン「Vision未来を描く～創り出そう！新たな伝統～」のもと、生徒自らの手で探究的に創意工夫する学校祭を企画運営した。文化祭・体育祭の各部門において役割を細分化し、一人一人が課題解決に向けて活躍し貢献できる場をデザインした。特に、看板や旗、入場門など、助成金によって購入した材料を使ってよりよい活動を行うことができた。当日は、地域の方も招き、学校や地域の良さを大きくアピールすることができた。

## 福井市清水中学校



本校では全校生徒で「SKP(清水(S)活性化(K)プロジェクト(P))」に取り組んでいる。地元4小学校区の公民館とタイアップして様々な活動を行うものである。中でも、清水東地区特産の管(すけ)を使った管笠マスコット作りは、保存会の方を講師に招き、東地区の生徒たちが教え役となって、2年生全員で取り組んだ。作ったマスコットは次年度の修学旅行先で配付する等して、地域のPRに活用予定である。

## 福井市足羽第一中学校



今年度で57回を迎えた母校訪問校下一周駅伝競走大会を10月12日に実施した。学級対抗で20区間31.2kmを男女の区間に分けて競った。走る、自転車で行く、各関門で役員を務める生徒一人一人が役割を担って取り組むことができた。警察や地域(防犯隊員、交通指導員、交通安全協会)や同窓会、PTAの協力のもと今年も盛大に行われた。いつものことながら沿道には数多くの地域の方が激励してくださった。

## 福井大学教育学部附属義務教育学校



「畑で働け」をテーマに探究活動を行っている。最初は、土壌作りから野菜栽培に挑戦した。現在は「未来の農業」に目を向け、野菜を生産・販売している企業や研究施設などを訪問したり、野菜ソムリエから話を聞いたりして、農業の現状を幅広く知る活動を進めている。そこで知り得た情報を全体で共有し、今後はこれからの農業の方向性について探究し、自分たちは地域社会にどのように貢献できるか探っていくとしている。

## 若狭町立上中中学校



9月29日(木)、申請書通りの活動「SDGs 地方創生ワークショップ」を開催した。内容は、特定非営利活動法人イシュープラスデザインの事業である、カードゲーム「SDGs de 地方創生」である。公認ファシリテーターの進行のもと、持続可能な地域のつくり方をゲームと講義を通して考えることができた。また、今後の「ふるさと探究学習」の促進材料にすることができた。

## 福井県立藤島高等学校



本校では2年生が「日本語・日本文学」「英語・英米文学」「法と政治」「歴史」「経済」「芸術」「教育」の講座に分かれ、興味・関心をもとにしたアカデミックリサーチを行っています。本助成金の援助を受け、福井大学および福井県立大学、福井市郷土歴史博物館等の諸機関より学術専門家を招聘して指導を受けています。今後、研究成果をポスターおよび論文の形に仕上げてゆく予定です。2月には課題研究発表会も予定されています。

## 福井県立高志高等学校



高志高校では、課題研究の授業の中で生徒全員が探究活動を行っています。自分の興味・関心から生まれる自然科学分野での疑問やSDGsなど社会における課題等について自分達の研究テーマを掘り下げ、課題解決に向けて研究に取り組んでいます。研究を進める上で、大学や研究機関の方々に助言をいただいたり、地元企業の方々に新たな商品・サービスを提案したりするなど、外部からのサポートもいただきながら頑張っています。

福井県立丸岡高等学校



学校設定教科「みらい」を中心に、生徒が自主的に校内外の講座を受講し、探究授業に取り組んでいます。GoogleClassroomやGoogleFormとExcelを連携し、生徒一人一人がタブレットから、講座の情報を得たり、学習状況を確認したり、成果を提出したりする探究型学習支援システムが重要となります。現在、管理工学研究所福井オフィスや県産業情報支援センターの支援を受けながら、システム構築に取り組んでいます。

福井県立武生高等学校



探究理科2年生はグループごとに課題研究に取り組んでいます。テンブン餅について研究しているグループが8月に物性試験(圧縮強度、引っ張り強度)を行うため食品加工研究所を訪れました。食品物性測定器の基本原理解やデータの見方などの取り扱いについて学び、測定サンプルを実際に作ってから試験を行いました。学校には無い実験器具を使い試験を行うことができたので、充実した活動になりました。

福井県立敦賀高等学校



自らが定めた探究活動のテーマについて、新たな知を得るために大学の研究施設や企業での研修を実施した。これらの研修を通して、探究的な見方や考え方を養い、今後の探究活動において有意義な成果を生み出すきっかけとなるだろう。

福井県立武生商工高等学校



実践的なロボットの機構や制御の技術を身につけるため、小型のロボット制御教材の開発を行う。小型で容易なマイコンボードと空気シリンダーなどのロボット機構を相対し、マイコンにプログラミングすることで、ロボットを動作させる教材を製作し、生徒一人一人に適した学習環境を整えた。製作したロボットで、高校生ロボットコンテストに挑戦し、広く全校生徒の学習に利用したほか、地域の小中学生にも紹介した。

福井県立道守高等学校



容居小学校では国際ボランティアとして授業をサポートし、英語教育だけでなく多文化共生に係る教育も進めています。めぐみこども園においても保育領域、芸術領域、運動領域の3領域でボランティアを計画的に実施し、共助社会に必要な心と力を育成しています。またシンキングツールを用いて主権者として必要な合理的に意思決定できる力を伸ばしています。福井大学の学生が来校し、チューターとしてボランティア活動を支援しています。

福井県立盲学校



盲学校には電動ろくろがありますが、陶芸の作品を成形するのはとても難しい！そこで陶芸村から講師を迎え、指導や手添えでの制作をしていただきました。恐る恐る土を触り、ろくろの回転に負けないように、でも少しずつ力を入れて器の形を作っていました。「あ～変になってもた！」「難しいな～」という子ども達の声。それでも「次は…！」と考える様子はとても生き生きしていました。盲学校の窯で焼きあがるのが楽しみです。

福井県立福井南特別支援学校



スマートウォッチを着着することにより、学習中の心拍やカロリー消費を「数値」として把握することができた。すると、生徒が数値を見て、「ゆっくりと落ち着こう。」「しっかりと腕を振って走ろう。」などと自己調整を意識しようとする姿が見られた。また、活動後に自分自身のことを振り返るツールの一つとして活用している。今後も、校外学習などの特別な活動場面を中心に活用していく予定である。

令和5年度 日教弘福井支部事業計画

| 事業名       |           | 対 象                                                   | 募集・申請期間                                                                          | 給付時期                        | 助成内容                                     | 備 考                                              |                              |
|-----------|-----------|-------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|------------------------------------------|--------------------------------------------------|------------------------------|
| 教育振興事業    | 奨学事業      | 貸与奨学金                                                 | 本年度大学・短大等に入学された生徒（在籍者も可能）：20名程度                                                  | 4月1日～5月31日                  | 8月下旬～                                    | 最大100万円<br>(1学年25万円)                             | 無利子貸与                        |
|           |           | 給付奨学金                                                 | 中学3年に在学中で学習意欲があり、次年度高校進学を希望する生徒で、学校長が推薦する生徒：40名                                  | 10月上旬～11月末                  | 翌年4月上旬                                   | 10万円                                             | 返還不要                         |
|           |           | 大学給付奨学生                                               | 高等学校・特別支援学校・高等専門学校3年に在学し、修学意欲があり、次年度大学進学を希望する生徒で、校長が推薦する生徒(各校1名まで)：4名            | 8月1日～9月30日                  | 翌年5月～                                    | 月額3万円<br>(4年間)                                   | 返還不要                         |
|           | 教育研究助成事業  | 教育研究団体助成                                              | 県内の幅広く有益な教育研究を行う団体<br>※校長会・教頭会等の団体、小・中・高の教育研究団体等                                 | 4月1日～5月31日                  | 7月中旬                                     | 10～15万円以内                                        | 申請書、役員名簿、成果報告書、会計報告書が必要      |
|           |           | 教育研究大会助成                                              | 県内を会場とした県、東海・北陸、全国の研究大会を開催する教育研究団体                                               | 仮受付：～3月31日<br>本受付：4/1～5/31  | 7月中旬                                     | 5～30万円以内                                         | 申請書、役員名簿、成果報告書、会計報告書が必要      |
|           |           | 教育研修助成                                                | 教職員の資質向上を図ることを目的に実施する校内研修会等の運営 ※経費・研修図書等の費用を補助<br>今年度は、中学校・高校・特別支援学校             | 6月1日～6月30日                  | 9月上旬                                     | 3～5万円以内                                          | 申請書、成果報告書、会計報告書が必要           |
|           |           | 特別支援学校教育支援                                            | 国・県立特別支援学校：6校<br>※教育文化活動助成との併用不可                                                 | 4月1日～6月30日                  | 7月下旬～                                    | 5万円以内                                            | 申請書、成果報告書、会計報告書が必要           |
|           |           | 教育実践研究論文の募集                                           | ①学校部門 ②個人部門<br>各学校及び教育機関等並びにそこに勤務する教育関係者個人及び研究グループ等                              | 4月上旬～10月中旬                  | 3月下旬                                     | 入賞 最高 3万円<br>50万円                                | 学校・個人の中から3編を本部に推薦<br>※支部奨励あり |
|           | 教育文化事業    | 教育図書贈呈                                                | 県内の小・中・高・特支校・国公立幼稚園・公立認定こども園に教育図書の贈呈<br>今年度は、小学校                                 | 5月1日～5月31日                  | 7月～                                      | 1～5万円以内                                          | 教育図書選定基本もくろくから本を選択           |
|           |           | 教育文化活動助成                                              | 創造的で特色ある教育文化活動を行っている、小学校・中学校・高校・特別支援学校：60校<br>※へき地、特支教育支援との併用及び前年度助成を受けた学校の申請は不可 | 4月1日～6月30日                  | 7月下旬～                                    | 6～8万円以内                                          | 申請書、中間報告書、成果報告書、会計報告書が必要     |
|           |           | へき地・複式学校教育支援                                          | 準へき地・複式学校に指定された学校：20校<br>※教育文化活動助成との併用不可                                         | 4月1日～6月30日                  | 7月下旬～                                    | 5万円以内                                            | 申請書、成果報告書、会計報告書が必要           |
| 文化スポーツの振興 |           | 児童生徒の教育文化・芸術・スポーツの振興をめざす各種大会・イベント企画・運営等を支援<br>※北陸大会以上 | 仮受付：～3月31日<br>本受付：4/1～5/31                                                       | 7月中旬                        | 5～20万円以内                                 | 申請書、成果報告書、会計報告書が必要                               |                              |
| 福祉事業      | 宿泊補助      | 日教弘の指定宿泊施設を利用する会員とその家族                                | ご利用の4日前まで                                                                        | 随時                          | 会員 3,000円<br>家族 2,000円                   | 自分で予約した場合に限る（年間4泊）                               |                              |
|           | 結婚祝金      | ご結婚された会員                                              | 随時                                                                               | 随時                          | 7,000円<br>ギフト券                           | 申請はご結婚1年以内                                       |                              |
|           | 出産祝金      | お子様が誕生した会員                                            | 随時                                                                               | 随時                          | 7,000円<br>ギフト券                           | 申請はご出産1年以内                                       |                              |
|           | 小学校入学祝金   | お子様が小学校に入学した会員                                        | 随時                                                                               | 随時                          | 7,000円<br>ギフト券                           | 申請はご入学年度内のみ                                      |                              |
|           | 高等学校入学祝金  | お子様が高等学校に入学した会員                                       | 随時                                                                               | 随時                          | 5,000円<br>～7,000円<br>ギフト券                | 申請はご入学年度のみ<br>加入回数・年数によって祝金額が異なる                 |                              |
|           | 銀婚祝金      | 教弘保険の継続が10年以上で銀婚式を迎えられた会員                             | 9月1日～9月30日                                                                       | 11月中旬～                      | 加0ギフト                                    | 加入回数・年数によって祝金額が異なる                               |                              |
|           | 満45歳健康祝金  | 年度内に満45歳を迎えられる会員                                      | 申請不要                                                                             | 上期： 8月<br>下期： 2月            | 5,000円<br>加0ギフト                          |                                                  |                              |
|           | 映画鑑賞会     | 【映画鑑賞会】<br>会員とその同伴者1名<br><br>【映画鑑賞券】<br>会員            | 開催時期に合わせ別途案内<br><br>利用可能期間に合わせ別途案内                                               | 開催の2週間前<br><br>利用可能期間に合わせ随時 | ペアで<br>250組500名<br><br>2枚1組を<br>100組200名 | 申込が必要<br>※応募多数の場合は抽選<br><br>申込が必要<br>※応募多数の場合は抽選 |                              |
|           | 人間ドック受診補助 | 人間ドック・脳ドックを受診された51歳以上の会員<br>※定年検・定期健診・健康診断は除く         | 受診後2ヶ月以内                                                                         | 申請日から2ヶ月以内                  | 5,000円                                   | 申請書、領収書の写しが必要                                    |                              |
|           | 国内研修旅行    | 退職会員                                                  | 時期：9月頃<br>先行：（企画中）<br>助成：2万円                                                     |                             |                                          |                                                  |                              |

|        |            |                                      |                     |                 |               |                     |
|--------|------------|--------------------------------------|---------------------|-----------------|---------------|---------------------|
| 福祉関連事業 | 新採用記念品     | 新採用教職員                               | 4月～6月               | 4月上旬～           | 数点の中から選ぶ      | ジブラルタ生命保険の学校担当者がご案内 |
|        | 新規加入記念品    | 教弘保険新規加入者                            | 随時                  | 随時              | A4バインダー       |                     |
|        | 校長昇任御祝     | 校長昇任者                                | 申請不要                | 4月～6月           | 高級ボールペン       | 役員・参事が持参            |
|        | 教頭昇任御祝     | 教頭昇任者                                | 申請不要                | 4月～6月           | 名刺入れ          | 役員・参事が持参            |
|        | 退職記念品      | 教弘保険、又は教弘付属保険に加入の退職予定者               | 申請不要                | 随時              | 今治タオルセット      |                     |
|        | 継続記念品      | コース教弘保険満了時に新教弘保険へ移行継続された会員           | 随時                  | 随時              | クリップファイル      |                     |
|        |            | 教弘保険に平成30年度加入し、継続5年を終えられ、今年度6年目に入る会員 | 申請不要                | 上期：8月<br>下期：2月  | 若狭箸簀          | ジブラルタ生命保険の学校担当者が持参  |
|        |            | 退職時に教弘保険を継続された会員                     | 申請不要                | 8月下旬            | 若狭牛話合わせA-5ランク |                     |
|        |            | 新教弘保険A型等の65歳満了時に新教弘保険K型に移行継続された会員    | 随時                  | 随時              | 手首式血圧計        |                     |
|        | 講師応援グッズ    | 講師                                   | 申請不要                | 4月上旬～           | デジタルタイマー      | ジブラルタ生命保険の学校担当者が持参  |
|        | おたのしみプレゼント | 全教職員(クイズ&アンケート)                      | 6月15日締切<br>11月15日締切 | 7月中旬～<br>12月中旬～ | 豪華賞品          | 年2回                 |

上記の事業は、令和5年1月時点のものです。今後、変更の可能性もありますのでご了承ください。

## 福利厚生サービスが新しくなりました はじめよう、「日教弘クラブオフ」!!



あなたもスマホでチャレンジしよう!! ① ② ③



① 日教弘クラブオフQRコード

③ 現在位置orエリアから

現在の場所から探す

② マップで探す

エリアを指定してください  
北陸 福井県  
福井市



## あなたの地域の「日教弘クラブオフ」が使えるお店!!

マップを広げると、さらにたくさんのお店が...



## (公財)日本教育公務員弘済会福井支部 福祉事業

これだけは  
知っておきたい

## 社会保障セミナー 年金編

老後生活の収入の柱となるのが公的年金。  
その仕組みや給付内容、さらに少子高齢化が進む中での今後の問題点なども  
見てみましょう。

主な  
内容

## 第1章 公的年金の考え方

所要時間：1時間程度

- 公的年金の基本となる考え方は？
- 公的年金制度の位置づけと仕組みって？
- 公的年金の受給水準はどれくらい？

## 第2章 仕組みと給付の内容

- 老齢年金、遺族年金、障害年金について
- 状況によって受取額がこんなに違うの？

## 第3章 わたしの場合…

- 老後の収支を見てみると…
- 家計支出の改善策
- 資金作りのポイント

参加費  
無料これだけは  
知っておきたい

## 社会保障セミナー 介護編

公的介護保険の仕組みや給付内容、  
そして介護の現状と今後について見てみましょう。

主な  
内容

## 第1章 公的介護制度の内容

- 介護に対する不安の内容とは？
- 介護保険サービスの体系
- 自己負担の目安

## 第2章 介護の現状

- 年齢や男女別で介護を見ると…
- 在宅介護で苦勞することとは？
- 認知症介護の大変さ

## 第3章 考えておくこと(対策)

- もし、介護が必要な状態になったら…
- それぞれの思い(心の葛藤)

参加費  
無料

## (公財)日本教育公務員弘済会福井支部 福祉事業

Gibraltar  
ジブラルタ生命

## 外貨活用講座

なぜ外貨を持つのか？

参加費  
無料

経済環境が変化する中で、  
家計における資産防衛法を確認しておく必要がありますか？

自分にあった資金の準備や  
運用方法を知りたい！

リスクは  
減らせるの？

外貨をもつメリット、  
デメリットは何だろう？

## 主な内容

- お金に関する行動
- 外貨を持つ理由
- 商品選択のポイント

| 受講希望番号 | セミナー名       | 所要時間 |
|--------|-------------|------|
| 1      | 社会保障セミナー年金編 | 約60分 |
| 2      | 社会保障セミナー介護編 | 約60分 |
| 3      | 外貨活用講座      | 約60分 |

FAXで申込み下さい。申込み先：(公財)日教弘福井支部(担当：野崎)  
※セミナー担当は、共済事業(提携保険事業)提携会社ジブラルタ生命保険(株)がご提供いたします。

FAX 0776-23-1828

TEL 0776-23-4433

|        |                   |            |
|--------|-------------------|------------|
| 学校名    |                   |            |
| ご担当者   |                   | 受講希望<br>番号 |
| ご連絡先   | TEL               |            |
| 第1希望日時 | 令和 年 月 日 時間帯 時～ 時 |            |
| 第2希望日時 | 令和 年 月 日 時間帯 時～ 時 |            |

# 令和5年度 貸与奨学生募集

大学・短期大学・高等専門学校・専修学校専門課程に在籍または入学が決定している学生に奨学金を貸与します。

- 募集人数：20名程度
- 貸与金額：修学年度1年につき25万円。最大100万円を無利息で一括貸与
- 募集期間：令和5年4月1日～令和5年5月31日
- 返還方法：卒業した年の12月から5年(100万円の場合は10年以内)で年賦返済
- 申請方法：福井支部までお電話にてお申し込みください。手続きについてご案内いたします。
  - ※申請時提出書類：奨学生申請書、付属調査票、連帯保証人の収入証明書、在学証明書
  - ※内定後提出書類：奨学金借用証書、連帯保証人の印鑑登録証明
- 備考：福井支部教育振興事業選考委員会にて選考後、6月中旬頃に結果を通知いたします。
- 問い合わせ先：公益財団法人日本教育公務員弘済会福井支部 奨学金担当 (TEL：0776-23-4433)



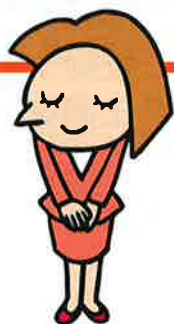
## 令和5年3月末にご退職予定の皆様へ

12月3日に嶺北会場・嶺南会場にて、福井県学校生活協同組合様と合同で開催いたしました、退職予定者説明会にご参加いただき、ありがとうございました。

この説明会でもご説明させていただきましたが、退職後は教弘保険の保険料が給与引取りでなくなりますので、福井銀行の口座振替に変更手続きをしていただく必要がございます。

手続きの方法については、共済事業提携会社のジブラルタ生命の学校担当者がご案内をさせていただきます。

**ご退職後も豊かで安定した生活を送るためには、万が一に備えての保険は必要です。**  
**ご退職後もぜひご継続ください。**  
**また、教弘保険に未加入の方はご加入をご検討されるラストチャンスです。**



### 福井支部からのお願い

再三のおしらせではございますが、日教弘会員様ならびに教育関係者のみなさまには多大なご不便、ご迷惑をおかけいたしておりますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

- ①福井市内の公立小・中学校へは、当面週1回(毎週、木曜日に教育センター発、金曜日に各学校着)お届けします。
- ②福井市以外の公立小・中学校への文書等は郵送させていただきます。  
また、県立学校・私立学校への文書等もこれまで通り郵送させていただきます。
- ③日教弘福井支部への返送が必要な場合は、郵送またはFAX(一部可)にてお送りくださいますようお願い申し上げます。

※日教弘福井支部宛の送付物がある際は、教育センター内の団体様宛の封筒(県教組様の青い封筒や学生協様のオレンジの封筒 等)のご利用はご遠慮いただきますようお願いいたします。



編集・発行 公益財団法人 日本教育公務員弘済会福井支部  
株式会社 福井教弘

〒910-0005 福井市大手2-22-28 福井県教育センター3F  
TEL:0776-23-4433 FAX:0776-23-1828  
メールアドレス fukui@nikkyoko.or.jp



↓↓ 各種申請書はこちらから ↓↓

日教弘福井支部

検索